

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援事業所めばえ		
○保護者評価実施期間	2024年 4月 1日 ～ 2025年 3月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	52 (回答者数)	17
○従業者評価実施期間	2024年 4月 1日 ～ 2025年 3月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	25 (回答者数)	25
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・ 職員の配置数が多い。	・ 子どもの特性や発達、気持ちの変化に合わせて職員間で情報共有を密にしている。	・ 職員間で日常を振り返りながら改善点を話し合い、意見交換していき、更に共通理解を深め、支援につなげていく。
2	・ 年齢でクラス分けをしていることによって、発達に合わせた活動を通して支援をしている。	・ 絵カード・個別スケジュール・SST・自立課題などを取り入れ、一人ひとりに寄り添った柔軟な支援をしている。	・ 更に活動内容を深め、色々な経験を安心・安全に楽しめるよう工夫していく。
3	・ 長く勤めている職員が多く、利用者に安心感がある。	・ 面談、電話、連絡ノートで保護者との気持ちの共有・聞き取りをしていしながら家族支援につなげている。	・ 家庭支援の充実（関係機関との連携を密にしてい）

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・ 救命救急講習の実施。	・ マニュアルの策定はできているが、現在まで事例もなく、実施できていない。	・ 救命救急講習を実施して万が一に備えていく。
2	・ HP、SNSを活用した発信の充実。	・ HPはあり、日々の様子は発信できているが、支援内容など詳細は伝えきれしていない。	・ SNSを活用し、更に支援内容などの発信をしていながら、安心した通所につなげていく。
3	・ 保護者間の交流の場が少ない。	・ 保護者からの要望も少なく、実施できていない。	・ アンケートや面談などを通して意見を伺っていく。